

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)」は、このたび、第54期の決算を行いました。

当ファンドは日本を含む世界各国 (エマージング国を除く) の株式を実質的な主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を目標に積極的な運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



<為替ヘッジあり (毎月決算型)> <為替ヘッジなし (毎月決算型)>

第54期末 (2018年6月25日)		第54期末 (2018年6月25日)	
基準価額	13,273円	基準価額	14,515円
純資産総額	1,662百万円	純資産総額	9,633百万円
第49期～第54期		第49期～第54期	
騰落率	△ 0.4%	騰落率	△ 3.6%
分配金(税込み)合計	720円	分配金(税込み)合計	1,360円

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書 (全体版) に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書 (全体版) は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書 (全体版) は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書 (全体版) の閲覧・ダウンロード方法>
右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンダー一覧」等から運用報告書 (全体版) を閲覧およびダウンロードすることができます。

交付運用報告書

- 第49期 (決算日 2018年1月23日)
- 第50期 (決算日 2018年2月23日)
- 第51期 (決算日 2018年3月23日)
- 第52期 (決算日 2018年4月23日)
- 第53期 (決算日 2018年5月23日)
- 第54期 (決算日 2018年6月25日)

作成対象期間 (2017年12月26日～2018年6月25日)

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル: (03) 6447-3100
(受付時間: 毎営業日の午前9時から午後5時)

ホームページ <http://www.invesco.co.jp/>

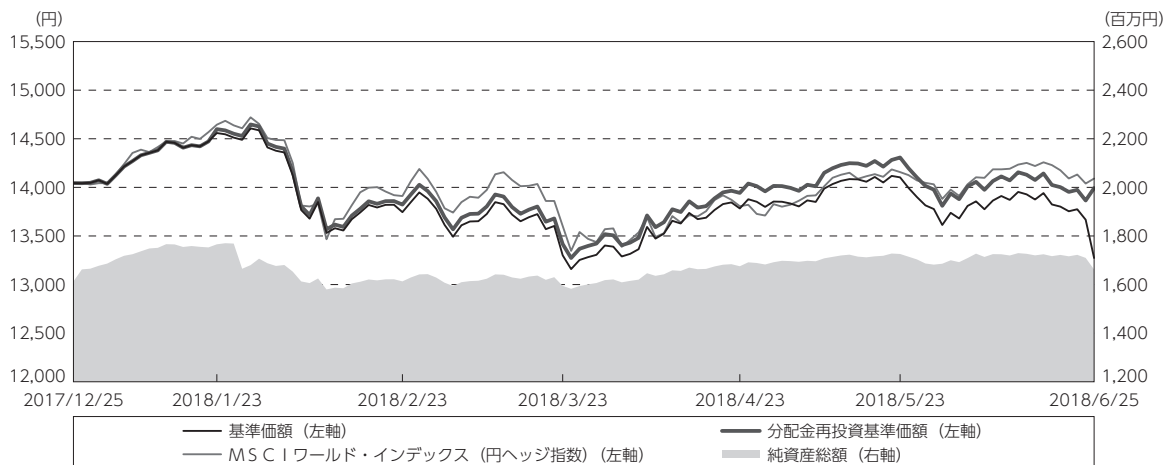
UD
FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2017年12月26日～2018年6月25日)



第49期首：14,044円

第54期末：13,273円 (既払分配金(税込み)：720円)

騰落率：△ 0.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびMSCIワールド・インデックス(円ヘッジ指数)は、作成期首(2017年12月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) MSCIワールド・インデックス(円ヘッジ指数)は、ベンチマークです。ベンチマークの詳細は20ページをご参照ください。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- 独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチにより銘柄選択を行った結果、EQUINOR(ノルウェー/エネルギー)、TESCO(英国/食品・生活必需品小売り)、NASDAQ(米国/各種金融)などの株価の上昇が、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- 日本を含む世界各国(エマージング国を除く)の株式を実質的な主要投資対象としているため、米国を除く主要株式市場が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

・ DEUTSCHE POST-REG (ドイツ/運輸)、BRITISH AMERICAN TOBACCO (英国/食品・飲料・タバコ)、ING GROEP NV-CVA (オランダ/銀行) などの株価の下落が、基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2017年12月26日～2018年6月25日)

項 目	第49期～第54期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	129	0.932	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(62)	(0.447)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(60)	(0.431)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(7)	(0.054)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.020	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数
(株 式)	(3)	(0.020)	※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	10	0.069	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数
(株 式)	(10)	(0.069)	※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	11	0.076	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.022)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(2)	(0.015)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(5)	(0.039)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、外国有価証券に係る税金および信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	153	1.097	
作成期間の平均基準価額は、13,887円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2013年6月24日～2018年6月25日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIワールド・インデックス(円ヘッジ指数)は、2013年6月24日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2013年6月24日 決算日	2014年6月23日 決算日	2015年6月23日 決算日	2016年6月23日 決算日	2017年6月23日 決算日	2018年6月25日 決算日
基準価額 (円)	10,377	12,562	13,659	12,703	13,786	13,273
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	820	1,550
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	21.1	8.7	△ 7.0	15.1	7.6
MSCIワールド・インデックス(円ヘッジ指数)騰落率 (%)	—	21.5	8.6	△ 7.4	16.5	7.8
純資産総額 (百万円)	755	931	1,005	988	1,270	1,662

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

(注) MSCIワールド・インデックス(円ヘッジ指数)は、ベンチマークです。ベンチマークの詳細は20ページをご参照ください。

投資環境

(2017年12月26日~2018年6月25日)

TOPIX (東証株価指数) (日本)	△5.7%	S & P 500 指数 (米国)	+1.3%
FTSE 100 指数 (英国)	△1.1%	DAX 指数 (ドイツ)	△6.1%
CAC 40 指数 (フランス)	△1.5%		
米ドル/円 109円69銭 (前作成期末113円23銭)		ユーロ/円 127円82銭 (同134円08銭)	

※株価指数の騰落率は当作成期末時点 (対前作成期末比)、米ドル/円およびユーロ/円は当作成期末の数値です。

<株式市場>

当作成期の世界の株式市場は、米国を除く主要先進国で下落しました。

米国株式市場は、2018年2月に入り、物価関連統計の回復などを受けてインフレ警戒感が高まり、米国10年債利回りが4年ぶりの水準まで上昇(債券価格は下落)すると株価が急落する局面があったものの、企業決算やマクロ経済指標が良好だったことなどを材料に、株価は上昇しました。一方、欧州では、①米国の保護主義的な政策をめぐる懸念、②ユーロ圏の景況感の悪化、③南欧の政局混乱などが嫌気され、下落基調での推移となりました。日本の株式市場は、米中の貿易摩擦の激化が懸念されたことや円高の進行などを要因に下落しました。

<為替市場>

作成期初1米ドル113円台でスタートした米ドル/円レートは、2018年3月までは、米国トランプ政権が保護主義的な貿易政策をとる姿勢を示したことを受け、米ドルが円をはじめとする主要通貨に対し弱含みました。4月以降は、米中の貿易摩擦や北朝鮮をめぐる地政学リスクに対する懸念の後退と、米国長期金利の上昇などから米ドル高が進み、作成期末には1米ドル109円台となりました。

作成期初1ユーロ134円台だったユーロ/円レートは、イタリアやスペインの政局混迷やドイツの大連立政権に対する不透明感などが嫌気され、対円で大きく下落しました。2018年6月以降は、マクロ経済環境の良好さや欧州中央銀行(ECB)の金融政策正常化観測を受けて上昇しましたが、作成期末には1ユーロ127円台と、前作成期末比ユーロ安/円高水準で当作成期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2017年12月26日~2018年6月25日)

主として、インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド(以下、マザーファンドといいます。)に投資を行い、マザーファンドを通じて、日本を含む世界各国(エマージング国を除く)の株式の中から、独自のバリュエーション・アプローチによりグローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジをすることで為替変動リスクの低減を図りました。

マザーファンドでは、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチによって銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。実質株式組入比率は、作成期を通じて高位を維持しました。セクター別では、主に「金融」「工

「エネルギー」をオーバーウェイトとした一方、「情報技術」「一般消費財・サービス」などをアンダーウェイトとしました。当作成期間中、新規に組み入れた銘柄は、BROADCOM (米国/半導体・半導体製造装置)、CARREFOUR (フランス/食品・生活必需品小売り)、ROYAL BANK OF SCOTLAND GROUP (英国/銀行)、三井住友フィナンシャルグループ (日本/銀行業) などです。作成期間中の株価下落局面を好機と捉え、良好な収益見通しや堅実な資本政策などを勘案して新規に組み入れを行いました。一方、相対的バリュエーションの魅力度が低下したRELX NV (オランダ/商業・専門サービス)、BT GROUP (英国/電気通信サービス)、NORDEA BANK (スウェーデン/銀行) は、より魅力ある投資機会を模索するために売却しました。なお、BOOKER GROUP (英国/食品・生活必需品小売り) は、TESCO (英国/食品・生活必需品小売り) に買収され、以後TESCOの保有を維持しました。

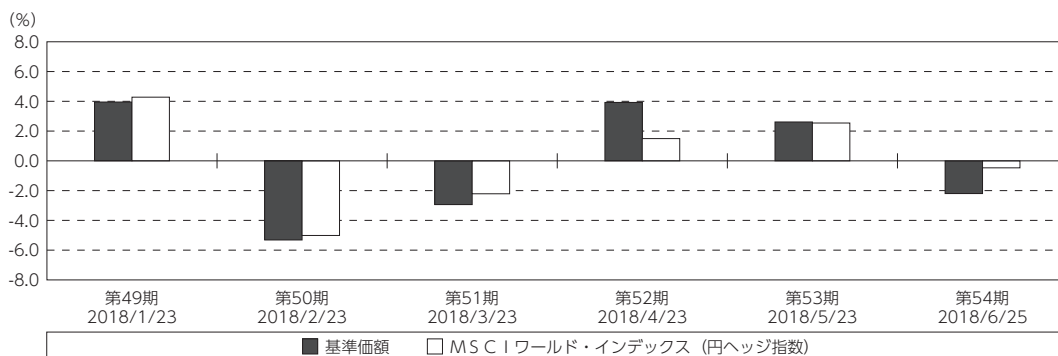
当ファンドのベンチマークとの差異

(2017年12月26日~2018年6月25日)

当作成期の分配金再投資基準価額騰落率は△0.4%となり、ベンチマークであるMSCIワールド・インデックス (円ヘッジ指数) の騰落率+0.3%を下回る結果となりました。

ファンドとベンチマークの騰落率の差異は、主にセクター配分と、国別の銘柄選択のマイナスの影響によるものでした。セクター別では、「情報技術」のアンダーウェイトと「金融」のオーバーウェイトがマイナス要因となりましたが、「エネルギー」のオーバーウェイトがマイナスの一部を相殺しました。セクター別の銘柄選択効果は、「生活必需品」「エネルギー」により、プラス要因となりました。国別では、「英国」「ノルウェー」の銘柄選択がプラスに寄与したものの、「ドイツ」「オランダ」「スイス」「香港」の銘柄選択のマイナス影響度がそれを上回り、全体でマイナス要因となりました。また、「米国」の大幅なアンダーウェイトがマイナス要因となりました。実質外貨建資産については、為替ヘッジをしていたことから、為替の効果によるベンチマークとの差異は限定的でした。

基準価額とベンチマークの対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

(注) MSCIワールド・インデックス (円ヘッジ指数) は、ベンチマークです。ベンチマークの詳細は20ページをご参照ください。

分配金

(2017年12月26日～2018年6月25日)

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況環境などを勘案し、第49期から第54期まで合計で1万口当たり720円（税込み）とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期	第54期
	2017年12月26日 ～2018年1月23日	2018年1月24日 ～2018年2月23日	2018年2月24日 ～2018年3月23日	2018年3月24日 ～2018年4月23日	2018年4月24日 ～2018年5月23日	2018年5月24日 ～2018年6月25日
当期分配金	40	40	40	40	40	520
(対基準価額比率)	0.274%	0.290%	0.300%	0.289%	0.283%	3.770%
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	40	40	40	40	40	520
翌期繰越分配対象額	8,017	7,981	7,941	7,902	7,862	7,343

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドでは、主としてマザーファンドへの投資を通じて日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自のバリュー・アプローチにより、グローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資を行います。実質外貨建資産への投資に当たっては、為替ヘッジをすることで為替変動リスクの低減を図ります。

マザーファンドでは、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチによって銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。エマージング諸国を除く、世界に点在する企業の中から、国籍にかかわらず、ビジネス・モデルと経営陣の資質が優れていると判断した企業を発掘します。特に着目している企業の特色は、フリー・キャッシュフロー創出力と株主還元を踏まえた、配当成長力です。また、銘柄数を厳選し、長期的視点から投資を行う方針です。今後も、株価バリュエーション判断を重視し、相対的に割安度が高いと判断した銘柄への組み替えを行っていきます。

お知らせ

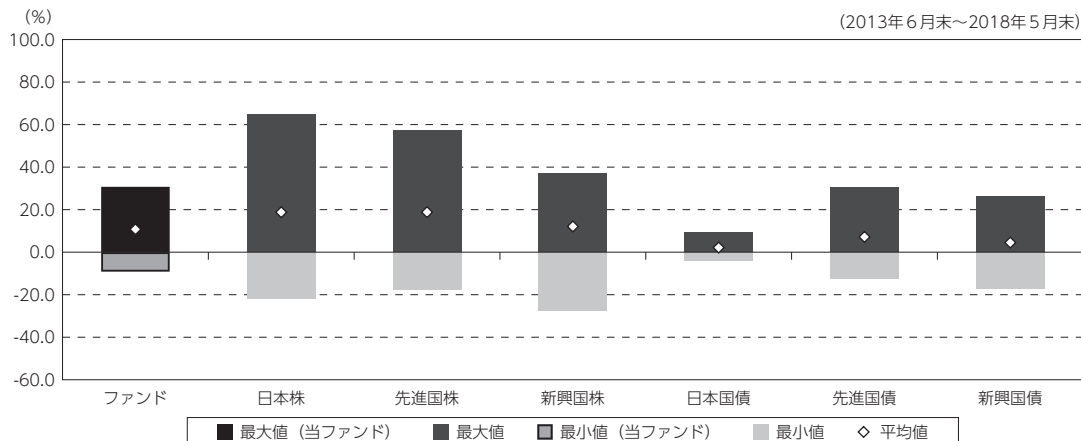
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド」受益証券を主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。 ・MSCIワールド・インデックス（円ヘッジ指数）をベンチマークとします。 	
主要投資対象	インベスコ 世界厳選株式 オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式を主要投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主としてマザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自のバリュー・アプローチによりグローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資します。 ・銘柄選択にあたっては、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価等ファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価等に基づくボトムアップ・アプローチにより行います。 ・実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。 	
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として毎月の決算時（毎月23日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額の水準、市況環境等を勘案し、分配金額を決定します。 ・毎年3月、6月、9月、12月の決算時には、委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。 ・分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合もあります。 	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	10.8	18.8	18.8	12.1	2.2	7.2	4.5
最大値	30.7	65.0	57.1	37.2	9.3	30.4	26.1
最小値	-9.2	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年6月から2018年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P20の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2018年6月25日現在)

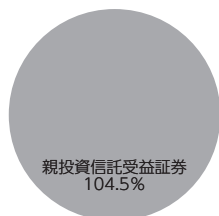
○組入上位ファンド

銘柄名	第54期末
インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	104.5%
組入銘柄数	1銘柄

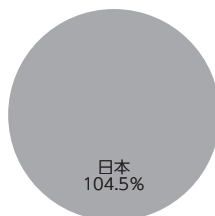
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

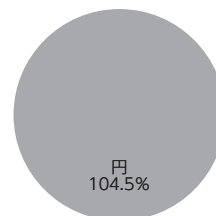
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

純資産等

項目	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末	第53期末	第54期末
	2018年1月23日	2018年2月23日	2018年3月23日	2018年4月23日	2018年5月23日	2018年6月25日
純資産総額	1,765,655,555円	1,613,149,891円	1,594,648,071円	1,675,419,089円	1,725,875,235円	1,662,045,292円
受益権総口数	1,212,797,727口	1,173,659,125口	1,198,881,906口	1,215,599,000口	1,223,735,490口	1,252,165,458口
1万口当たり基準価額	14,559円	13,745円	13,301円	13,783円	14,103円	13,273円

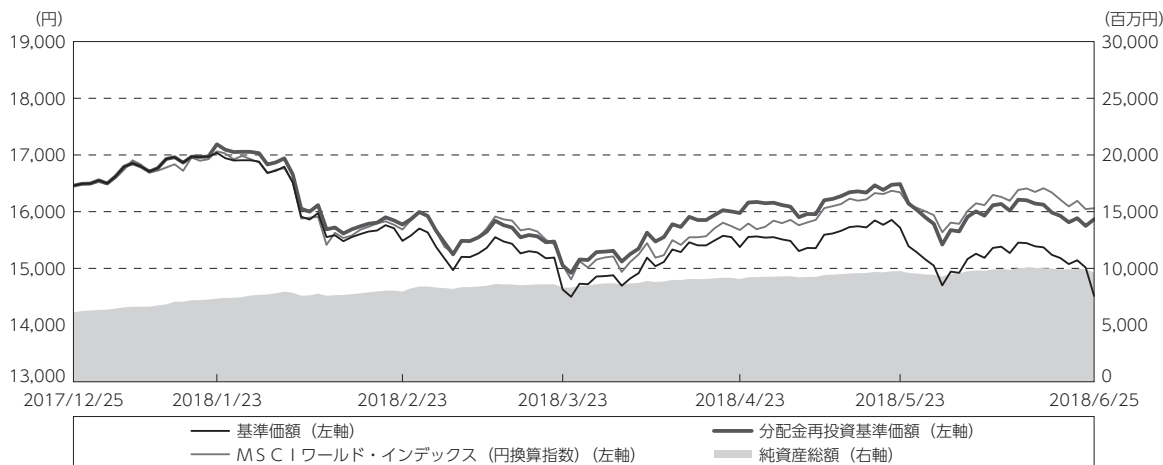
* 作成期間(第49期~第54期)中における追加設定元本額は294,118,410円、同解約元本額は190,613,715円です。

インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2017年12月26日～2018年6月25日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびMSCIワールド・インデックス(円換算指数)は、作成期首(2017年12月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) MSCIワールド・インデックス(円換算指数)は、ベンチマークです。ベンチマークの詳細は20ページをご参照ください。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- 独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチにより銘柄選択を行った結果、EQUINOR(ノルウェー/エネルギー)、TESCO(英国/食品・生活必需品小売り)、NASDAQ(米国/各種金融)などの株価の上昇が、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- 日本を含む世界各国(エマージング国を除く)の株式を実質的な主要投資対象としているため、米国を除く主要株式市場が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

- ・ DEUTSCHE POST-REG (ドイツ/運輸)、BRITISH AMERICAN TOBACCO (英国/食品・飲料・タバコ)、ING GROEP NV-CVA (オランダ/銀行) などの株価の下落が、基準価額の下落要因となりました。
- ・ 実質外貨建資産の為替ヘッジを行わなかったため、投資対象資産の全ての通貨が対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2017年12月26日～2018年6月25日)

項 目	第49期～第54期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	146	0.932	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(70)	(0.447)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(68)	(0.431)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(8)	(0.054)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.020	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数
(株 式)	(3)	(0.020)	※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	11	0.069	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数
(株 式)	(11)	(0.069)	※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	6	0.039	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.023)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(2)	(0.012)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、外国有価証券に係る税金および信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	166	1.060	
作成期間の平均基準価額は、15,695円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2013年6月24日～2018年6月25日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIワールド・インデックス(円換算指数)は、2013年6月24日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2013年6月24日 決算日	2014年6月23日 決算日	2015年6月23日 決算日	2016年6月23日 決算日	2017年6月23日 決算日	2018年6月25日 決算日
基準価額 (円)	11,588	15,056	18,478	14,381	15,694	14,515
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	1,220	2,580
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	29.9	22.7	△ 22.2	17.8	9.0
MSCIワールド・インデックス(円換算指数)騰落率 (%)	—	27.7	24.3	△ 21.2	22.4	8.4
純資産総額 (百万円)	1,983	2,609	2,382	1,997	2,327	9,633

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。
- (注) MSCIワールド・インデックス(円換算指数)は、ベンチマークです。ベンチマークの詳細は20ページをご参照ください。

投資環境

(2017年12月26日~2018年6月25日)

TOPIX (東証株価指数) (日本)	△5.7%	S & P 500 指数 (米国)	+1.3%
FTSE 100 指数 (英国)	△1.1%	DAX 指数 (ドイツ)	△6.1%
CAC 40 指数 (フランス)	△1.5%		
米ドル/円	109円69銭 (前作成期末113円23銭)	ユーロ/円	127円82銭 (同134円08銭)

※株価指数の騰落率は当作成期末時点 (対前作成期末比)、米ドル/円およびユーロ/円は当作成期末の数値です。

<株式市場>

当作成期の世界の株式市場は、米国を除く主要先進国で下落しました。

米国株式市場は、2018年2月に入り、物価関連統計の回復などを受けてインフレ警戒感が高まり、米国10年債利回りが4年ぶりの水準まで上昇(債券価格は下落)すると株価が急落する局面があったものの、企業決算やマクロ経済指標が良好だったことなどを材料に、株価は上昇しました。一方、欧州では、①米国の保護主義的な政策をめぐる懸念、②ユーロ圏の景況感の悪化、③南欧の政局混乱一などが嫌気され、下落基調での推移となりました。日本の株式市場は、米中の貿易摩擦の激化が懸念されたことや円高の進行などを要因に下落しました。

<為替市場>

作成期初1米ドル113円台でスタートした米ドル/円レートは、2018年3月までは、米国トランプ政権が保護主義的な貿易政策をとる姿勢を示したことを受け、米ドルが円をはじめとする主要通貨に対し弱含みました。4月以降は、米中の貿易摩擦や北朝鮮をめぐる地政学リスクに対する懸念の後退と、米国長期金利の上昇などから米ドル高が進み、作成期末には1米ドル109円台となりました。

作成期初1ユーロ134円台だったユーロ/円レートは、イタリアやスペインの政局混迷やドイツの大連立政権に対する不透明感などが嫌気され、対円で大きく下落しました。2018年6月以降は、マクロ経済環境の良好さや欧州中央銀行(ECB)の金融政策正常化観測を受けて上昇しましたが、作成期末には1ユーロ127円台と、前作成期末比ユーロ安/円高水準で当作成期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2017年12月26日~2018年6月25日)

主として、インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド (以下、マザーファンドといいます。) に投資を行い、マザーファンドを通じて、日本を含む世界各国 (エマージング国を除く) の株式の中から、独自のバリュー・アプローチによりグローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジは行いませんでした。

マザーファンドでは、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチによって銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。実質株式組入比率は、作成期を通じて高位を維持しました。セクター別では、主に「金融」「工

「エネルギー」をオーバーウェイトとした一方、「情報技術」「一般消費財・サービス」などをアンダーウェイトとしました。当作成期間中、新規に組み入れた銘柄は、BROADCOM (米国/半導体・半導体製造装置)、CARREFOUR (フランス/食品・生活必需品小売り)、ROYAL BANK OF SCOTLAND GROUP (英国/銀行)、三井住友フィナンシャルグループ (日本/銀行業) などです。作成期間中の株価下落局面を好機と捉え、良好な収益見通しや堅実な資本政策などを勘案して新規に組み入れを行いました。一方、相対的バリュエーションの魅力度が低下したRELX NV (オランダ/商業・専門サービス)、BT GROUP (英国/電気通信サービス)、NORDEA BANK (スウェーデン/銀行) は、より魅力ある投資機会を模索するために売却しました。なお、BOOKER GROUP (英国/食品・生活必需品小売り) は、TESCO (英国/食品・生活必需品小売り) に買収され、以後TESCOの保有を維持しました。

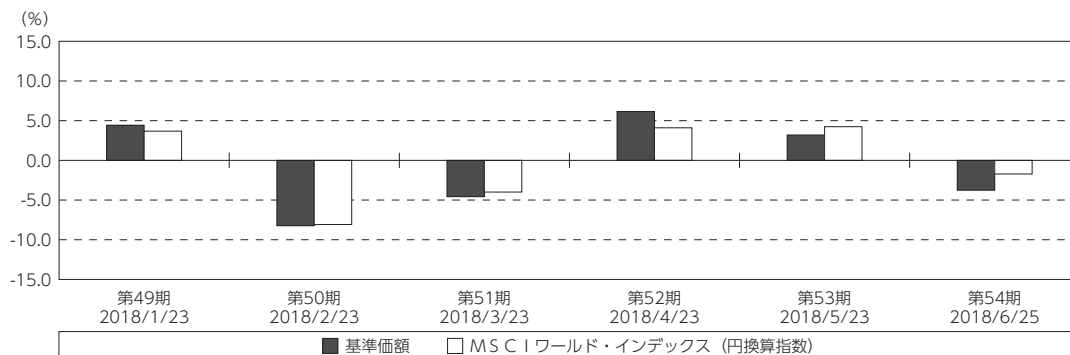
当ファンドのベンチマークとの差異

(2017年12月26日~2018年6月25日)

当作成期の分配金再投資基準価額騰落率は△3.6%となり、ベンチマークであるMSCIワールド・インデックス (円換算指数) の騰落率△2.4%を下回る結果となりました。

ファンドとベンチマークの騰落率の差異は、主にセクター配分と、国別の銘柄選択のマイナスの影響によるものでした。セクター別では、「情報技術」のアンダーウェイトと「金融」のオーバーウェイトがマイナス要因となりましたが、「エネルギー」のオーバーウェイトがマイナスの一部を相殺しました。セクター別の銘柄選択効果は、「生活必需品」「エネルギー」により、プラス要因となりました。国別では、「英国」「ノルウェー」の銘柄選択がプラスに寄与したものの、「ドイツ」「オランダ」「スイス」「香港」の銘柄選択のマイナス影響度がそれを上回り、全体でマイナス要因となりました。また、「米国」の大幅なアンダーウェイトがマイナス要因となりました。為替の観点からは、当作成期間中、保有していた外貨建資産の全ての通貨が対円で下落したことがマイナス要因となり、下落率が相対的に大きかった英ポンドおよびユーロ建ての資産をオーバーウェイトとしていたことによるマイナスの影響が大きくなりました。

基準価額とベンチマークの対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

(注) MSCIワールド・インデックス (円換算指数) は、ベンチマークです。ベンチマークの詳細は20ページをご参照ください。

分配金

(2017年12月26日～2018年6月25日)

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況環境などを勘案し、第49期から第54期まで合計で1万口当たり1,360円(税込み)とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期	第54期
	2017年12月26日 ～2018年1月23日	2018年1月24日 ～2018年2月23日	2018年2月24日 ～2018年3月23日	2018年3月24日 ～2018年4月23日	2018年4月24日 ～2018年5月23日	2018年5月24日 ～2018年6月25日
当期分配金	150	150	150	150	150	610
(対基準価額比率)	0.873%	0.959%	1.015%	0.966%	0.945%	4.033%
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	150	150	150	150	150	610
翌期繰越分配対象額	13,732	13,583	13,433	13,284	13,134	12,525

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドでは、主としてマザーファンドへの投資を通じて日本を含む世界各国(エマージング国を除く)の株式の中から、独自のバリュー・アプローチにより、グローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資を行います。実質外貨建資産への投資に当たっては、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチによって銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。エマージング諸国を除く、世界に点在する企業の中から、国籍にかかわらず、ビジネス・モデルと経営陣の資質が優れていると判断した企業を発掘します。特に着目している企業の特徴は、フリー・キャッシュフロー創出力と株主還元を踏まえた、配当成長力です。また、銘柄数を厳選し、長期的視点から投資を行う方針です。今後も、株価バリュエーション判断を重視し、相対的に割安度が高いと判断した銘柄への組み替えを行ってまいります。

お知らせ

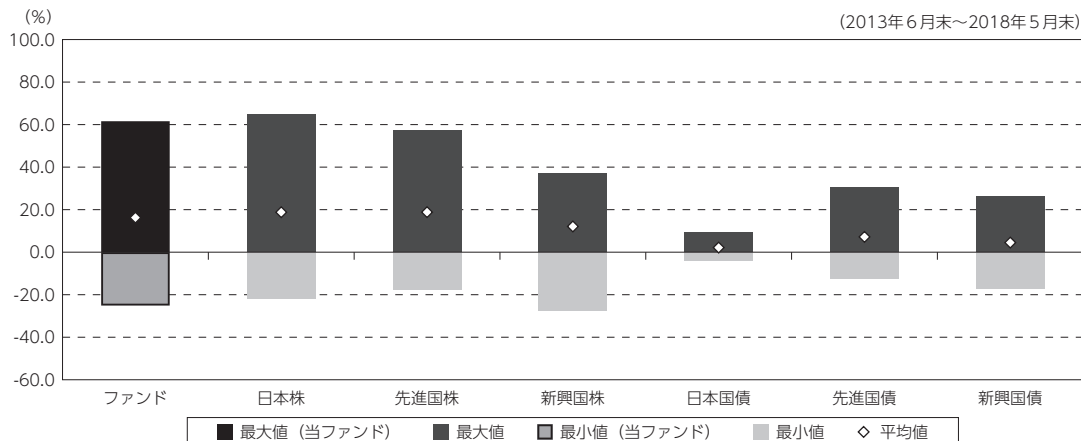
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド」受益証券を主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。 ・MSCIワールド・インデックス（円換算指数）をベンチマークとします。 	
主要投資対象	インベスコ 世界厳選株式 オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式を主要投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主としてマザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自のバリュー・アプローチによりグローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資します。 ・銘柄選択にあたっては、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価等ファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価等に基づきボトムアップ・アプローチにより行います。 ・実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。 	
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として毎月の決算時（毎月23日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額の水準、市況環境等を勘案し、分配金額を決定します。 ・毎年3月、6月、9月、12月の決算時には、委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。 ・分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合もあります。 	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	16.3	18.8	18.8	12.1	2.2	7.2	4.5
最大値	61.6	65.0	57.1	37.2	9.3	30.4	26.1
最小値	-25.1	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年6月から2018年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P20の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2018年6月25日現在)

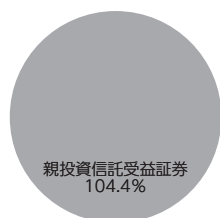
○組入上位ファンド

銘柄名	第54期末
インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	104.4%
組入銘柄数	1銘柄

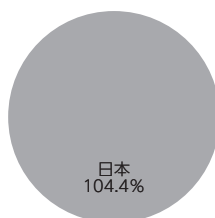
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

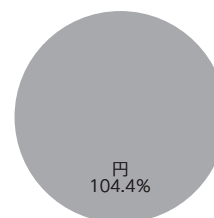
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

純資産等

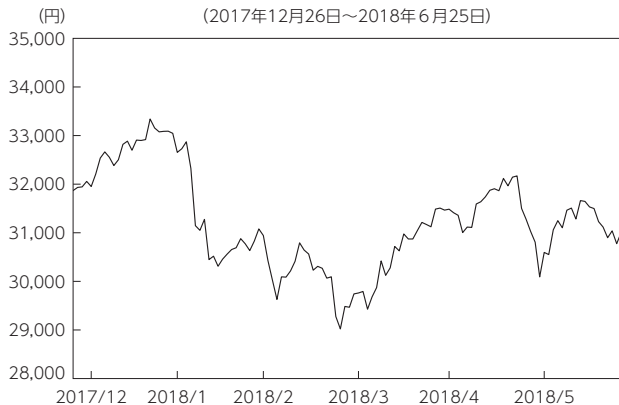
項目	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末	第53期末	第54期末
	2018年1月23日	2018年2月23日	2018年3月23日	2018年4月23日	2018年5月23日	2018年6月25日
純資産総額	7,332,515,725円	7,954,821,453円	8,298,639,573円	9,059,376,932円	9,758,688,585円	9,633,652,183円
受益権総口数	4,303,538,788口	5,137,093,494口	5,673,378,416口	5,891,985,231口	6,208,983,523口	6,636,847,191口
1万口当たり基準価額	17,038円	15,485円	14,627円	15,376円	15,717円	14,515円

* 作成期間(第49期~第54期)中における追加設定元本額は3,283,030,585円、同解約元本額は354,436,903円です。

組入上位ファンドの概要

インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2017年12月26日～2018年6月25日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	6 (6)	0.020 (0.020)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	21 (21)	0.069 (0.069)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	7 (7) (0)	0.023 (0.023) (0.000)
合計	34	0.112

期中の平均基準価額は、31,231円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2018年6月25日現在)

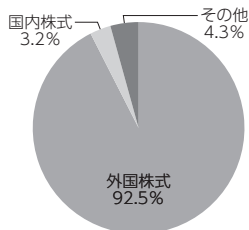
順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	ORANGE	電気通信サービス	ユーロ	フランス	3.3%
2	CHEVRON	エネルギー	米ドル	アメリカ	3.3%
3	ROYAL DUTCH SHELL-A	エネルギー	ユーロ	オランダ	3.2%
4	BP	エネルギー	英ポンド	イギリス	3.1%
5	EQUINOR	エネルギー	ノルウェークローネ	ノルウェー	2.9%
6	TOTAL	エネルギー	ユーロ	フランス	2.8%
7	PFIZER	医薬品/バイオテクノロジー/サイエンス	米ドル	アメリカ	2.7%
8	JPMORGAN CHASE & CO	銀行	米ドル	アメリカ	2.6%
9	NEXT	小売	英ポンド	イギリス	2.5%
10	NASDAQ	各種金融	米ドル	アメリカ	2.5%
組入銘柄数				48銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

【資産別配分】



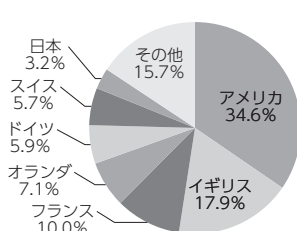
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

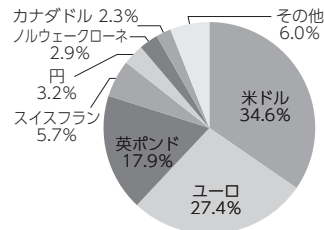
(注) その他には現金等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

【国別配分】



【通貨別配分】



<当ファンドのベンチマークについて>

<為替ヘッジあり> (毎月決算型)

ベンチマークとしてMSCIワールド・インデックス (円ヘッジ指数) を使用しています。基準日前営業日の円ヘッジ指数を用いています。なお、日次ベース開示開始日を100として当社で独自に指数化しています。

MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を含む世界の先進国で構成されています。また、MSCIワールド・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

<為替ヘッジなし> (毎月決算型)

ベンチマークとしてMSCIワールド・インデックス (円換算指数) を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社で独自に円換算しています。

MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を含む世界の先進国で構成されています。また、MSCIワールド・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

TOPIXは、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄の株価を対象として算出した指数です。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

○MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

○NOMURA - BPI 国債

NOMURA - BPI 国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJPMorgan Chase & Co.及び関係会社 (「JP モルガン」) に帰属しております。JP モルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JP モルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。